

フリーアクセスフロアの木造建築物への施工について  
取扱説明書

2024年3月29日

# 目次

1. はじめに	… P.2
2. 適用範囲	… P.2
3. 用途	… P.2
4. 施工方法	… P.2
5. 参考納まり図	… P.2
6. 警告事項	… P.3
7. 注意事項	… P.3
8. 取り扱い方法	
8-1. 重量物の設置について	… P.4
8-2. アジャスターの配置について	… P.5
8-3. 積載許容荷重について	… P.5
8-4. 重量物の運搬について	… P.5
8-5. パネルの取り外し・配線について	… P.6～7

## 1. はじめに

本書はフクビ化学工業(株)におけるフリーアクセスフロアの木造建築物への施工に関する取扱要領を記載しております。本書をよく読み、正しくお取り扱いください。

## 2. 適用範囲

以下の製品のみ本仕様に対応いたします。それ以外の製品に関しては使用しないでください。

クリーンOAフロア TN-100、TN-50、TN-30、ピットTN-50、ピットTN-30

## 3. 用途

木造の建物における住宅の居室、会議室、事務室用途として使用してください。それ以外の用途では使用しないでください。

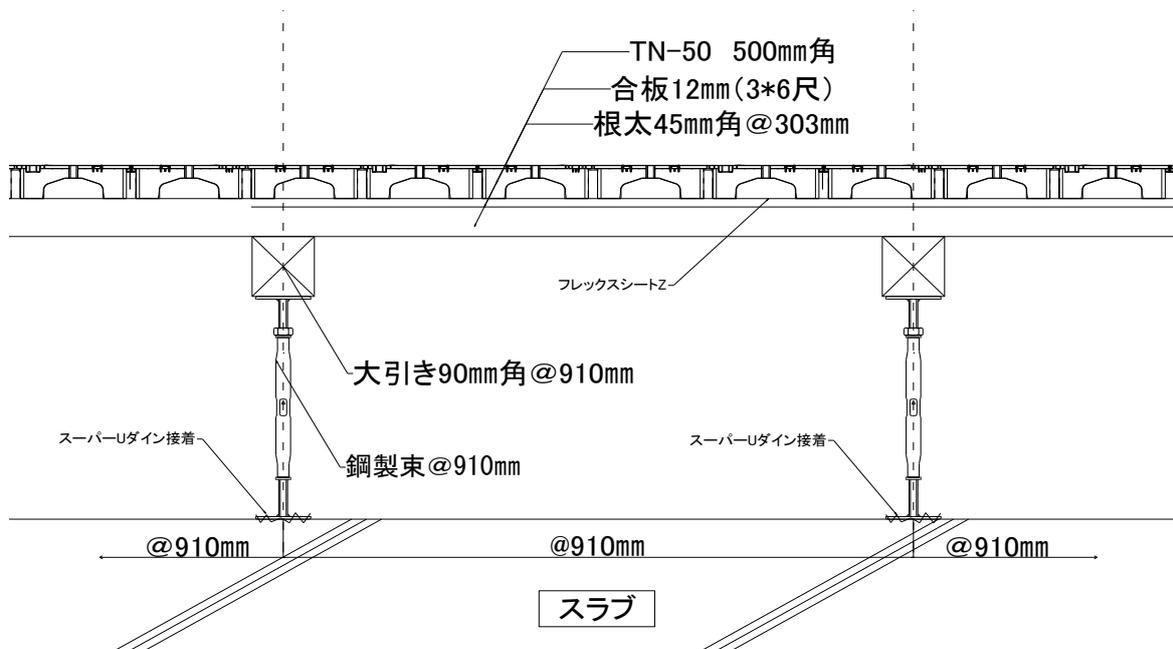
## 4. 施工方法

各種商品ごと施工要領書に施工方法を記載しています。施工要領書をよく読み、正しくお取り扱いください。

## 5. 参考納まり図

尺モジュール根太組み工法

- ・大引き@910mm
- ・根太@303mm



## 6. 警告事項

---

本表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡またはケガを負う可能性が想定される内容を示しています。

■ フリーアクセスフロアは改造しないでください。システムの破損・変形により、事故・ケガの恐れがあります。

■ フリーアクセスフロアのパネルは必要なとき以外は取り外さないでください。人・物の落下や配線をひっかけるなど、事故・ケガの恐れがあります。

■ パネル上の表面仕上げ材等を剥がしたままで使用しないでください。歩行や台車走行時の事故・ケガの恐れがあります。また、パネル基板の損傷につながる恐れがあります。

■ パネルを取り外したときは、必要以上に高く持ち上げず、すぐに安全な場所に一時置きしてください。パネル落下による事故・ケガの恐れがあります。

## 7. 注意事項

---

本表示を無視して、誤った取り扱いをすると、物的損害が発生する可能性が想定される内容を示しています。

■ フリーアクセスフロアは使用条件(用途・荷重・耐震性等)にあわせて、仕様を選定・設計・施工しています。使用条件を変更する場合は、改めて仕様を検討する必要があります。

■ 建築基準法施行令第85条内で規定されている積載荷重[N/m<sup>2</sup>]を超える重量物(金庫や大型水槽など)は設置しないでください。変形や破損の原因となります。

■ フリーアクセスフロアのパネルの上に重いものを落下させるなど、強い衝撃を与えないでください。変形や破損の原因となります。

■ 他メーカーの商品を混同して使用すると強度が異なることで、変形や破損が生じる可能性があります。弊社の同一商品を使用するようにしてください。

■ 施工する前に床下地が強度不足ではないか、床鳴りが発生しないか確認の上、施工を行ってください。強度が不足している、床鳴りが発生する場合には対策し、問題がないことを確認してから施工してください。

## 8. 取り扱い方法

本表示を無視して、誤った取り扱いをすると、物的損害が発生する可能性が想定される内容を示しています。

### 8-1. 重量物の設置について

重量物を設置する場合、設置面積が小さくなるアジャスターなどの脚具を使用しますと、パネルに偏った荷重が加わり、変形や破損が生じる恐れがあります。



アジャスター

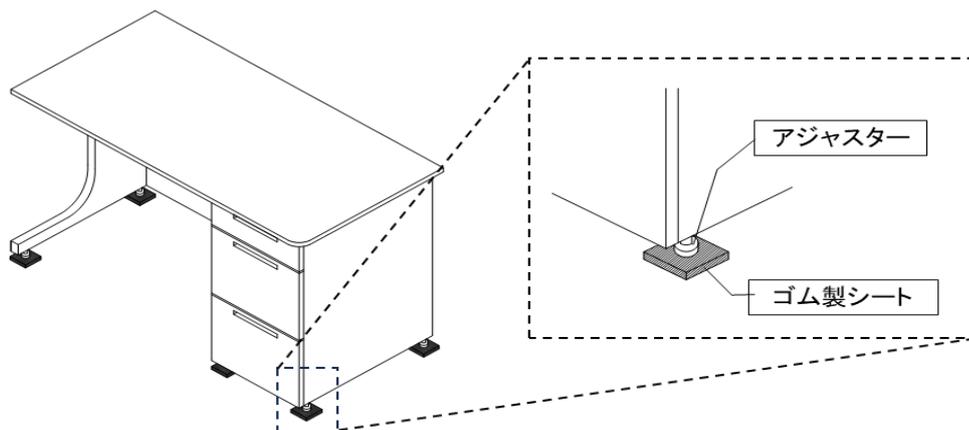
#### 重量物の例

- ・コピー機 60cm×60cm×120cm 約100kg
- ・袖付きデスク 150cm×70cm 約190kg
- ・本棚 250cm×80cm 約320kg ※8段程度

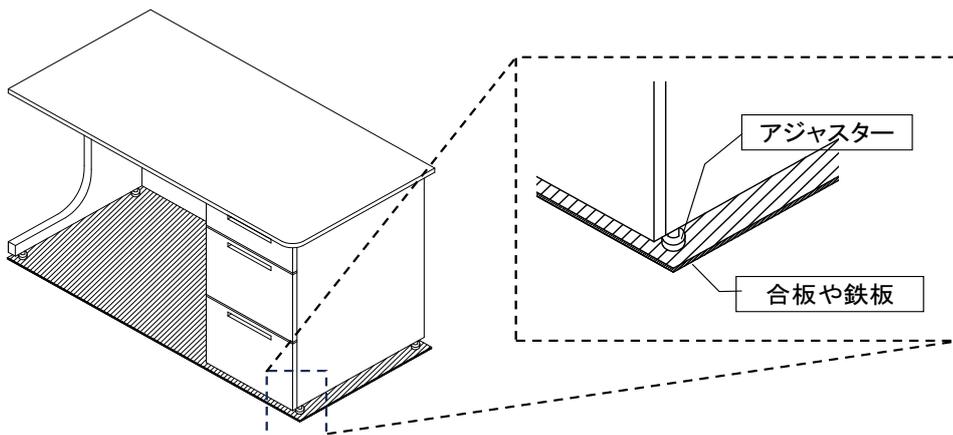
アジャスターなどの脚具を使用する場合には、各アジャスターの下に柔らかいゴム製シートを敷くか重量物全体の大きさに合わせた合板や鉄板などを敷いて集中して荷重が加わらないようにしてください。

#### [ゴム製シートの場合]

アジャスターよりも大きいゴム製シートを敷いてください。

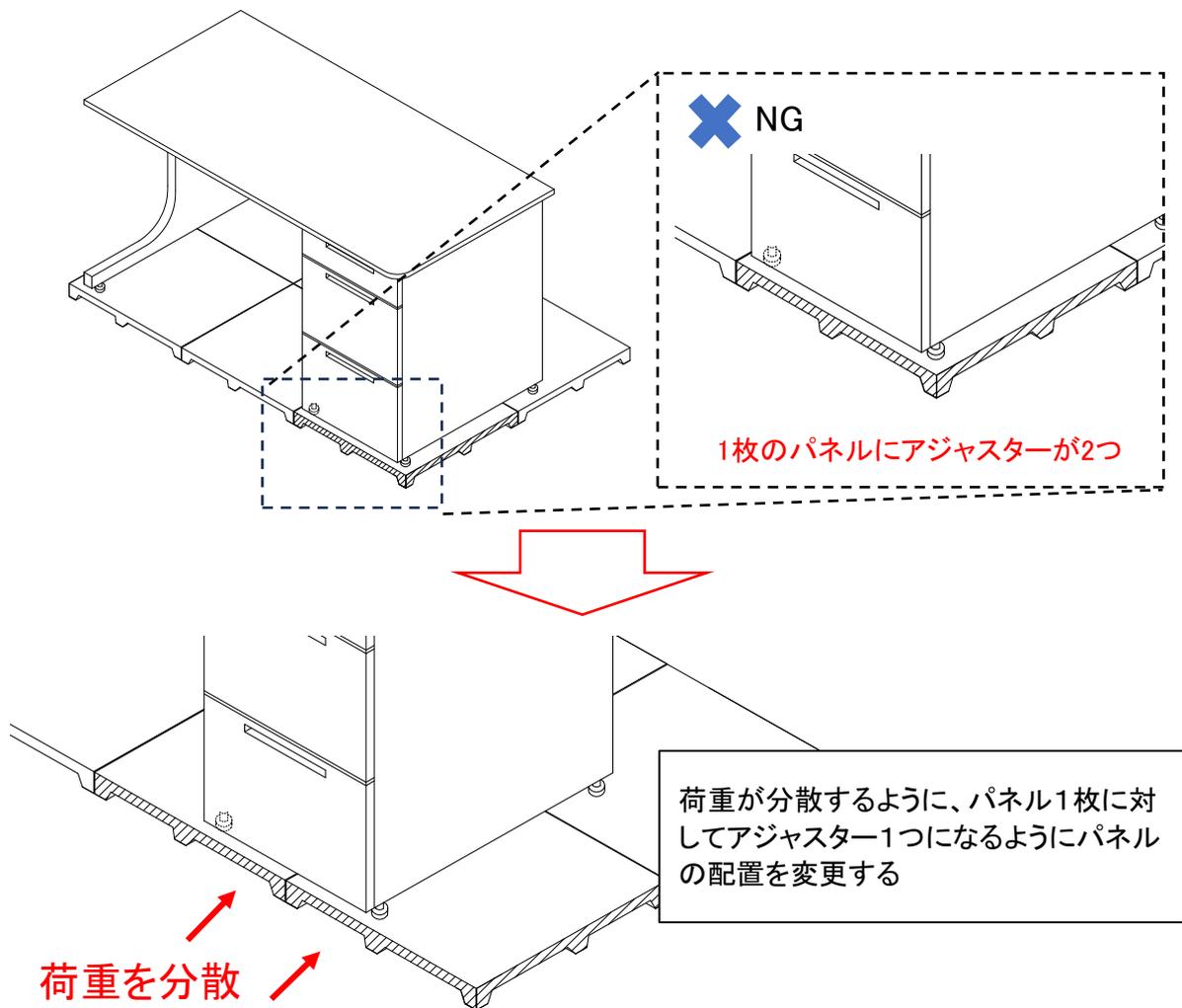


#### [合板や鉄板の場合]



## 8-2. アジャスターの配置について

1枚のパネルに対してアジャスターが複数設置されないようにしてください。



## 8-3. 積載許容荷重について

用途によって建築基準法施行令第85条内で規定されている積載荷重[N/m<sup>2</sup>]を超える重量物は設置しないでください。

用途	積載荷重[N/m <sup>2</sup> ]
住宅の居室	1,800
事務室、会議室	2,900

※金庫や大型水槽などの重量物は設置しないでください。

※上記の用途以外では使用しないでください。

## 8-4. 重量物の運搬について

事務用品等の重量物を台車で運搬する場合、過大な局部荷重がかからないように、通過する経路には合板を敷いて、養生を行ってください。

## 8-5. パネルの取り外し・配線について

[クリーンOAフロア TNシリーズ]

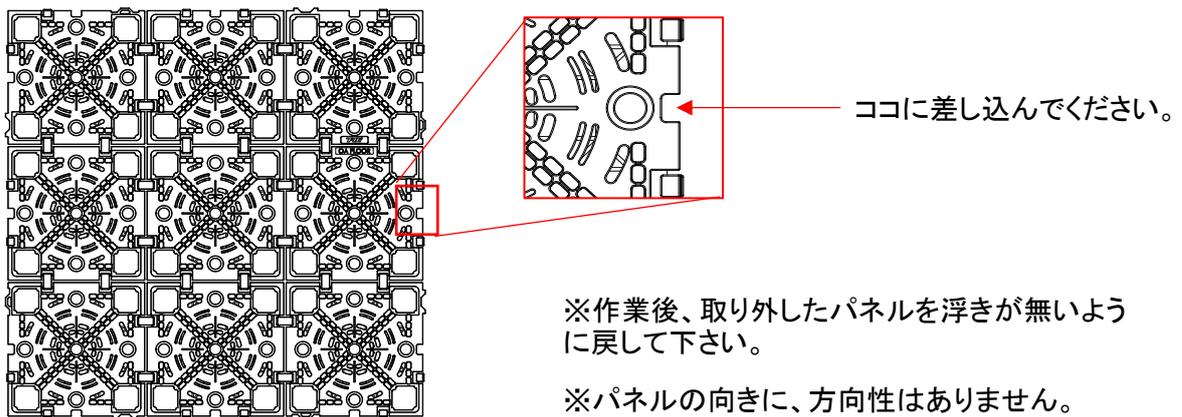
パネルの取り外しの際は、安全のため必ず手袋をし、床の精度維持のために下記事項に御注意下さい。

### ・タイルカーペットの取り外し

ヘラ等をタイルカーペットの継ぎ目に差し込みながら剥がして下さい。

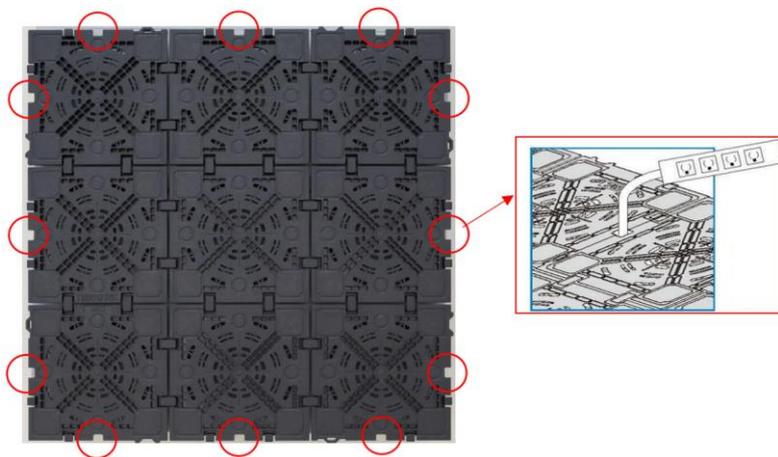
### ・パネルの取り外し

パネルの半穴(下図)にドライバー等を差し込み、隣接するパネルを支点にして、パネルを浮き上げ取り外して下さい。



### ・配線の取り出し

電話線・LAN ケーブル・OA タップの取り出し方法は、下図のようにパネル1枚に対し、配線取り出し口が12ヶ所ありますので、その部位から通線します。



機器の増設などで床下配線が多くなりパネルに配線を絡ませ引っ張ったりしますと、ケーブルが損傷したり パネルが浮く原因となります。

[クリーンOAフロア ピットTNシリーズ]

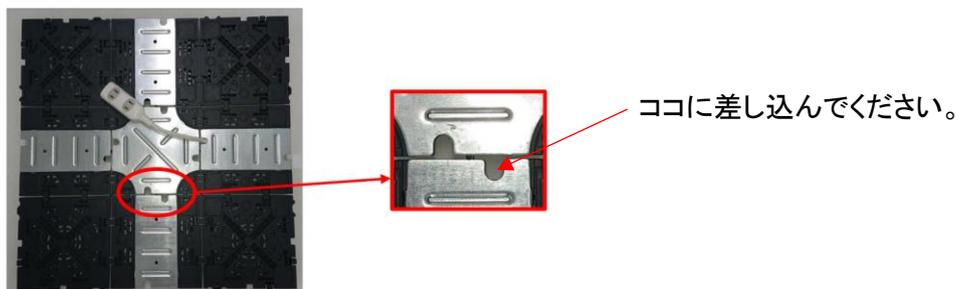
パネルの取り外しの際は、安全のため必ず手袋をし、床の精度維持のために下記事項に御注意下さい。

・タイルカーペットの取り外し

ヘラ等をタイルカーペットの継ぎ目に差し込みながら剥がして下さい。

・パネルの取り外し

溝配線カバーの半穴(下図)にドライバー等を差込み、隣接する溝配線カバーを支点にして、溝配線カバーを浮き上げ取り外して下さい。

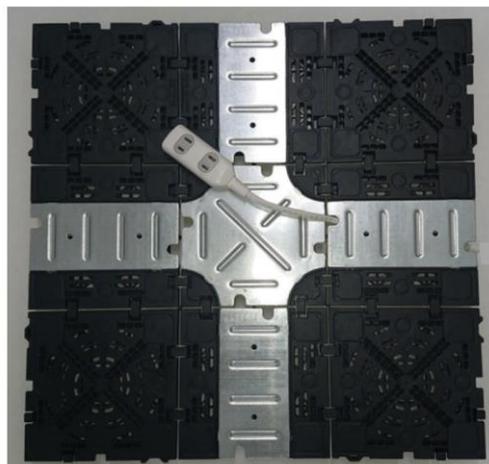


※作業後、取り外したパネルを浮きが無いように戻して下さい。

※パネルの向きに、方向性はありません。

・配線の取り出し

電話線・LANケーブル・OAタップの取り出し方法は、以下の図のようにパネルに十字に嵌合されている溝カバー部の配線取り出し口から通線します。



機器の増設などで床下配線が多くなりパネルに配線を絡ませ引張ったりしますと、ケーブルが損傷したり、パネルが浮く原因となります。